

わたしたちの街からでたごみが海ごみになっています！

海に流失するごみの約7～8割は街（陸）由来と言われています。

内陸県である栃木県でも、自分の問題として考えていく必要があることから、令和元年8月県と県内25市町が「栃木からの森里川湖（もりさとかわうみ）プラごみゼロ宣言」を行い、毎年5月最終日曜日をとちぎの環境美化県民運動の統一行動日として、地域で一斉清掃を実施するなど、プラスチックごみの削減に共同で取り組んでいます。

また、環境省と日本財団では、令和7年5月30日（ごみゼロの日）から、6月5日（環境の日）と6月8日（世界海洋デー）を含む5月30日～6月9日を「海ごみゼロウィーク」と称して、全国一斉の清掃キャンペーンを開催いたします。

ポイ捨てされたごみ、ゴミ箱からあふれたごみ、ごみ置き場に出したつもりでも風に飛ばされたり、カラスに荒らされたごみは、そのままにしておくと雨に流されて川に入り、ついには海に流れて拾うのが難しくなります。

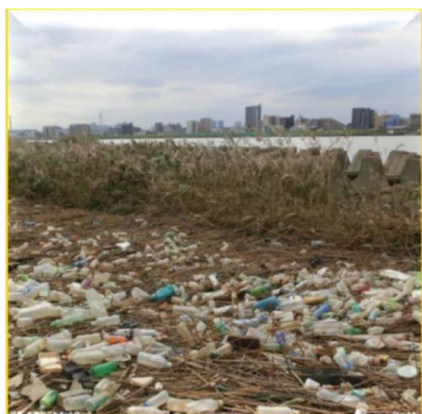
ゴミ捨てのマナーを守り、適切に管理して、「ふるさと栃木」豊かな自然と清らかな環境を将来に引き継いでいきましょう。



ポイ捨てされたり、ごみ箱からあふれたごみ



きちんとごみ置き場に出したつもりでも、風で飛ばされたり、カラスのしわざで散らばったごみ



まちのごみが、台風や大雨で川に入り、河川敷に打ち上げられたごみ

栃木県資源循環推進課

写真：全国川ごみネットワーク